

2023年1月16日

若者の感性で振り返る2022年 〈文部科学省後援〉

第36回 東洋大学「現代学生百人一首」

入選作品100首、小学生の部入選作品10首を発表

日本国内外から集まった“現代の学生”ならではのユニークな65,966首の作品から選定

URL：<https://www.toyo.ac.jp/social-partnership/issyu/>

東洋大学（東京都文京区／学長・矢口悦子）が実施する「現代学生百人一首」は、本学が1987年に創立100周年を迎えた際に、「百」にちなんだ記念行事のひとつとして始めた事業であり、毎年大きな反響と多くの方々からのご支持をいただいております。全国で最も累計応募数の多い短歌コンクール（※）であり、第1回から第36回までの累計応募作品数は1,717,490首を数えます。

36回目となる今回は、65,966首の作品が寄せられました。ここに紹介する入選作品100首からは、2022年の話題や世の中の出来事、そして日常生活に対する若者たちの感性をうかがい知ることができます。作品募集のテーマである「現代学生のものの見方・生活感覚」を基準に、厳正に審査された入選作品100首を発表するとともに、小学生の部入選作品10首も併せて紹介いたします。また、学校全体で取組み、多数の優れた作品を応募いただいた学校に贈呈する「学校特別賞」も5校選出いたしました。

（※）2023年1月12日 本学調べ

〈第36回 東洋大学「現代学生百人一首」概要〉

- テーマ：「現代学生のものの見方・生活感覚」を詠みこんだ短歌
- 応募総数：65,966首（内、小学生280首）
- 応募校総数：675校
- 応募期間：2022年9月16日（金）～10月12日（水）
- 選考方法：東洋大学「現代学生百人一首」選考委員会にて選考

〈選考委員長〉

- ・高柳 祐子 東洋大学文学部准教授

〈選考委員〉

- ・河地 修 東洋大学名誉教授
- ・米川千嘉子 歌人／歌誌「かりん」編集委員、毎日新聞歌壇選者
- ・藤島 秀憲 歌人／歌誌「心の花」編集委員、NHK学園短歌講座専任講師

詳細は、本学Webサイト内、現代学生百人一首ページ（<https://www.toyo.ac.jp/social-partnership/issyu/>）よりご覧ください。

《CONTENTS》

第36回 応募作品を振り返って	・・・ P. 2
2022年の世相が反映された入選作品	・・・ P. 2
入選作品100首	・・・ P. 3～6
小学生の部入選作品10首／日本語学校・海外協定校優秀作品	・・・ P. 7
応募校数・応募作品数データ・「学校特別賞」受賞5校	・・・ P. 8
累計応募作品数（第1回～第36回）	・・・ P. 9

<第36回 応募作品を振り返って>

3年ぶりの「日常」

コロナ禍も3年目。マスクが必需品の生活、自身や家族の感染など、コロナ以降の生活様式が当たり前となった一方で、部活動や学校行事、地域のイベントなどが再開され、「3年ぶり」という表現が見られるなど、少しずつ元の日常を取り戻しています。

今回の応募作品には、家族や友人と過ごす“普通の”夏休みの様子がうかがえる歌、試合に向かう緊張や引退する先輩から引き継ぐ思いなど活動が再開された部活動にまつわる歌、「合唱コンクール」「文化祭」「修学旅行」など対面で開催された学校行事にまつわる歌など、オンラインとは違うリアルな体験で感じた気持ちや再び交流できる喜びを詠んだ歌が多く寄せられました。

■2022年の世相が反映された入選作品

【学校生活】

- ・十六の僕らの翹（はね）はひしゃげてる好きも嫌いも言えず震えて（No.5）
- ・鳥海（ちょうかい）の涼しき風にあおがれるテントの中に登山部眠る（No.8）
- ・手に持った鑷子（せし）の冷たさ身にしみるこれから見てゆく命の尊さ（No.12）
- ・マスク越し飽きるほど見た君の顔弁当開けばまた別の君（No.42）
- ・文化祭初の対面ミュージカル拍手はこんなに嬉しかったか（No.43）
- ・板隔てバーガー頬張り笑い合う今ある幸せ一口味わう（No.77）
- ・溶接をやってくうちに見えてくる理屈を超えた感覚の世界（No.88）

学校生活に対面での活動や行事が戻り、そこで感じた思いや情景を詠んだ歌が多く見られました。専門的な学びの場を詠んだ歌には若者ならではの感性が光る作品が見られました。

【時事・社会問題】

- ・二個上の兄と迎える成人は心の準備全然出来ない（No.3）
- ・分からないものを分からぬものとして楽しむ心スマホで消えた（No.50）
- ・十一年経っても私は帰りたい私の故郷いわきの町へ（No.60）
- ・なぜだろうみんなと違うだけなのに間違いなんかじゃないはずなのに（No.65）
- ・青い空金色（こんじき）の野のウクライナ描くためには赤はいらない（No.72）
- ・嫌なこと「多様性」だとまるめられ少し不安な私の未来（No.73）

違いを受け入れる歌がある一方で、「多様性」という言葉で理解したつもりになって思考停止してしまうことへの危機意識を詠んだ歌もありました。ウクライナについて平和を願う気持ちを率直に詠んだ作品も多数寄せられ、実社会にむける若い世代のまなざしを感じました。

【日常生活】

- ・三年の時経て揺れる火薬の香（か）湖水にひかる花のなつかし（No.4）
- ・流行語若者「それな」祖母「んだず」祖母が使うとめんこいばかり（No.10）
- ・暑い中私も食べたい芋煮会担当業務は検温だった（No.14）
- ・インスタのQRコードでよろしくね女子高生の名刺交換（No.17）
- ・まじやばいガチでえぐいわそれは草スパイのような僕らの会話（No.56）
- ・塾帰り空のスクリーン茜色そっとスマホをリュックに入れる（No.58）
- ・未来への地図がないまま歩き出す自由の苦しさ知ったこの夏（No.68）
- ・内定の通知書そっと見せてみた親の笑顔が忘れられない（No.74）

若者らしい流行り言葉やSNSを使いこなす毎日。その一方でスマホからそっと離れてみる試みも。未来への選択肢に直面して、悩む若者らしい歌も寄せられました。

第36回 東洋大学「現代学生百人一首」入選作品

「秀逸作品」欄の◆印は秀逸作品15首 ※年齢は2023年1月16日入選作品発表時のものです

No.	秀逸 作品	作品	(上段)氏名・年齢 (下段)学校名・学年			都道 府県
			氏名	年齢	学校名・学年	
1		冬の朝かじかみながら登校す手袋一雙貸し借りしながら	村本 彩花	むらもと あやか	17	北海道
			帯広北高等学校			
2		頑張れとぼつりつぶやくその声は彼に届かず試合が終わる	山下 利子	やました りこ	14	北海道
			札幌市立西岡中学校			
3		二個上の兄と迎える成人は心の準備全然出来ない	森 廣 千智	もりひろ ちさと	18	北海道
			北海道美唄聖華高等学校			
4		三年の時経て揺れる火薬の香(か)湖水にひかる花のなつかし	田村 凜	たむら りん	16	青森県
			青森県立三本木農業恵拓高等学校			
5		十六の僕らの翅(はね)はひしゃげてる好きも嫌いも言えず震えて	佐藤 文菜	さとう あやな	16	宮城県
			仙台市立仙台高等学校			
6		通学路目立たないけど地面にも毎日変わる楽しさがある	及川 颯	おいかわ はやて	13	宮城県
			宮城県仙台二華中学校			
7		免許取り初心者マークの兄と行く右をむいたら父の面影	横山 実優	よこやま みゆ	17	宮城県
			宮城県名取高等学校			
8	◆	鳥海(ちょうかい)の涼しき風にあおられるテントの中に登山部眠る	櫻庭 幸登	さくらば ゆきと	16	秋田県
			秋田県立秋田北高等学校			
9		オムレツはふわふわよりも薄皮派部活帰りの私を包む	利部 瑠南	かがぶ るな	18	秋田県
			秋田県立秋田西高等学校			
10		流行語若者「それな」祖母「んだず」祖母が使うとめんこいばかり	荒木 英美梨	あらか えみり	16	山形県
			山形県立新庄神室産業高等学校真室川校			
11		祖父の編む葡萄の蔓で出来た籠裏地縫う祖母躍るぬい針	櫻本 唯	さくらもと ゆい	16	山形県
			山形県立新庄神室産業高等学校真室川校			
12		手に持った鍬子(せっし)の冷たさ身にしみるこれから見てゆく命の尊さ	漆山 璃海	うるしやま りみ	16	山形県
			山形県立山辺高等学校			
13		オレンジの夕日が差し込む窓際で試験に向けてにんじんを切る	横山 凜	よこやま りん	16	山形県
			山形県立山辺高等学校			
14	◆	暑い中私も食べたい芋煮会担当業務は検温だった	工藤 心春	くどう こはる	18	山形県
			山形県立山辺高等学校			
15		じゃんがらで今亡き祖母を迎え入れ家族で囲む新盆(にいぼん)の夜	宮澤 悠仁	みやざわ はるひと	15	福島県
			福島県立平工業高等学校			
16		見上げれば三段上にいるきみを「ち、よ、こ、れ、い、と」で追いぬく放課後	榎田 有咲	くした ありさ	18	茨城県
			東洋大学附属牛久高等学校			
17		インスタのQRコードでよろしくね女子高生の名刺交換	中山 由香	なかやま ゆか	18	茨城県
			東洋大学附属牛久高等学校			
18		これなあに?聞く弟の指の先ウソでしょ!それは公衆電話	大久保 采音	おおくぼ ことね	13	埼玉県
			上尾市立上平中学校			
19		あたらしい個性が見えるコロナ禍で身につける服あわせるマスク	安藤 虹七	あんどう にいな	16	埼玉県
			埼玉県立越谷南高等学校			
20		憂鬱な梅雨の激しい雨の日も前髪死守するJK強し	間所 唯	まどころ ゆい	18	埼玉県
			埼玉県立庄和高等学校			
21		数々の「違い」に悩む私たちそれでもいつか分かり合えたら	五十里 莉奈	いかり りな	16	埼玉県
			埼玉県立松山女子高等学校			
22		幼き日百円握って通った駄菓子屋の戸に「閉店します」	重田 梨亜	しげた りあ	18	埼玉県
			埼玉県立蒔高等学校			
23	◆	弟の「ねえね、あそぼ」の一言に最後にいいよと言えたのはいつ	村口 真菜	むらぐち まな	18	千葉県
			芝浦工業大学柏高等学校			
24		電車内マスクしてない人がいる責める気持ちを消せない自分	井上 湊祐	いのうえ そうすけ	13	千葉県
			芝浦工業大学柏中学校			
25		わがままでめんどうくさいほくだけど感謝を込めて風呂を洗うよ	宮下 玲	みやした れい	13	千葉県
			芝浦工業大学柏中学校			

No.	秀逸作品	作品	(上段) 氏名・年齢 (下段) 学校名・学年		都道府県	
26		せりなずなごぎょうはこべら七草の一番最初は私の名前	福田 せり	ふくだ せり	13	千葉県
			昭和学院秀英中学校		1	
27		テレワーク会議をしている母親にご飯まだかと訴え続ける	鈴木 大和	すずき やまと	15	千葉県
			千葉県立安房拓心高等学校		1	
28		角折れた古いノートを見返せば小さな自分よく頑張ったね	田中 真結	たなか まお	14	千葉県
			千葉県立千葉中学校		2	
29		武道場かけ声響く頭脳戦一本取るぞ右足を出す	岩崎 雄斗	いわさき ゆうと	13	千葉県
			千葉市立轟町中学校		2	
30		電車内席を譲るが断られ下車駅同じ長いふみきり	松井 凜	まつい りん	15	千葉県
			千葉明徳中学校		3	
31		地区大会敗れた夜のカレーライス甘口なのに目の奥ピリリ	小川 慶太郎	おがわ けいたろう	13	東京都
			稲城市立稲城第三中学校		2	
32		休み時間一人群れずに本を読む君の姿に目を奪われた	江尻 あい	えじり あい	13	東京都
			鷗友学園女子中学校		2	
33		二学期の始めの頃に現れるシャワーヘッドのような向日葵	篠崎 双葉	しのざき ふたば	13	東京都
			学習院女子中等科		2	
34		緊張し勝手にかかるビブラートお願い声帯落ちついていこ	今泉 佳彩	いまいずみ かのあ	15	東京都
			慶應義塾中等部		3	
35		消されゆく運命にあると知りながら往復はがきに書いた「行(ゆき)」の字	高橋 蒼	たかはし そう	15	東京都
			慶應義塾中等部		3	
36		ビニールの仕切りに波打つ面会に祖母の手のシワ幾重にも増え	佐藤 菜穂	さとう なお	16	東京都
			国士館高等学校		1	
37		自信作そう昨晩は思ったが今日の私が消しゴムで消す	杉田 明日香	すぎた あすか	14	東京都
			白百合学園中学校		2	
38		言い方で伝わることは変わるから最大限の私で話す	望月 奈緒	もちづき なお	16	東京都
			専修大学附属高等学校		1	
39		「ママ」と呼び「お母さん」と言いなおすなお照れくさい十三の夏	田中 護裕	たなか もりひろ	13	東京都
			高輪中学校		2	
40	◆	母入院男4人の夏休み小言はないが明るさもなし	長崎 大嘉	ながさき たいが	12	東京都
			貞静学園中学校		1	
41	◆	ふと思う私の夢はなんだろうソーダの泡がはじけて消える	佐久間 咲良	さくま さら	14	東京都
			田園調布学園中等部		2	
42		マスク越し飽きるほど見た君の顔弁当開けばまた別の君	野上 佳鈴	のがみ かりん	18	東京都
			東京都立日比谷高等学校		3	
43	◆	文化祭初の対面ミュージカル拍手はこんなに嬉しかったか	野畑 琴音	のばた ことね	18	東京都
			東京都立日比谷高等学校		3	
44		子は学科親は学校選ぼうと言い争うは三者面談	武田 英俊	たけだ ひでとし	16	東京都
			東京農業大学第一高等学校		1	
45		おはようと笑って挨拶するために二段落とした変速装置	仲 明快	なか あきよし	18	東京都
			東京農業大学第一高等学校		3	
46		最近の子どもの名前読めないよ母と推測クラスの名簿	倉井 遥花	くらい はるか	15	東京都
			東洋大学京北中学校		3	
47		ウクライナコロナ未来の教科書の数行分の激動の年	内村 佳保	うちむら かほ	29	東京都
			日本大学大学院		2	
48		引っ越しですっからかんのあたしんちまた思い出を育てていく	福永 真夕	ふくなが まゆ	14	東京都
			普連土学園中学校		2	
49		炎天下サッカーをして汗をかく俺らの臭いまさにカメムシ	高橋 海舟	たかはし かいしゅう	15	東京都
			明星高等学校		1	
50		分からないものを分からぬものとして楽しむ心スマホで消えた	森谷 昂之心	もりや こうのしん	17	東京都
			早稲田大学高等学院		2	

No.	秀逸作品	作品	(上段) 氏名・年齢 (下段) 学校名・学年		都道府県	
51		「もう一回！」三〇分後はい王手父に勝てずにそっぽ向く夏	大谷 柚葉	おおたに ゆずは	12	神奈川県
			神奈川県大学附属中学校		1	
52		堂々とアイス頬張る家一人こそこそ片付け証拠隠滅	幸田 茉花	こうだ まはな	13	神奈川県
			神奈川県大学附属中学校		1	
53		五時間も黙って座る日帰りの座禅もどきの修学旅行	栗原 勇哲	くりはら はやと	12	神奈川県
			慶應義塾普通部		1	
54		気づいたらいつもスマホを触ってる催眠術に僕はかかった	柳沢 諒	やなぎさわ りょう	12	神奈川県
			慶應義塾普通部		1	
55		もう少し違う関係あの夜のラインに早く気付いていたら	高橋 仁寛	たかはし まさひろ	14	神奈川県
			慶應義塾普通部		2	
56		まじやばいガチでえぐいわそれは草スパイのような僕らの会話	加藤 大地	かとう だいち	15	神奈川県
			慶應義塾普通部		3	
57	◆	「行ってきます」「行ってらっしゃい」それだけで私は今日もがんばれるんだ	宇井 朋希	うい ほまれ	14	神奈川県
			法政大学第二中学校		2	
58		塾帰り空のスクリーン茜色そっとスマホをリュックに入れる	若狭 いおり	わかさ いおり	14	神奈川県
			横浜市立南戸塚中学校		3	
59		マスクして少し曇った声だっていいさ想いを告げられるのなら	佐藤 翼海	さとう たくみ	16	新潟県
			東京学館新潟高等学校		1	
60	◆	十一年経っても私は帰りたい私の故郷いわきの町へ	渡辺 恵美里	わたなべ えみり	16	新潟県
			東京学館新潟高等学校		1	
61		コロナ禍で誰かが居ない教室に慣れてく自分が何か悲しい	吉田 そら	よしだ そら	16	新潟県
			東京学館新潟高等学校		2	
62		朝起きて布団投げ出し洗面所女家族の戦が始まる	長野 好花	ながの このか	17	石川県
			金沢大学附属高等学校		2	
63		マスク時代目で感情を表現し私も一歩女優に近づく	篠原 百絵	しのはら ももえ	17	長野県
			上田西高等学校		3	
64		カマキリの卵が地上10センチ今年の冬は雪が少ない	星野 沙羅	ほしの さら	17	長野県
			松商学園高等学校		2	
65		なぜだろうみんなと違うだけなのに間違いなんかじゃないはずなのに	加藤 葵衣	かとう あおい	13	岐阜県
			川辺町立川辺中学校		2	
66		大掃除ほこりかぶった本棚に知らない本と父の歴史と	三品 明日香	みしな あすか	14	岐阜県
			川辺町立川辺中学校		2	
67		淡々とありをりはべりいまそがり迫る睡魔に抗いながら	太田 果蓮	おおた かれん	18	静岡県
			静岡県立下田高等学校		3	
68		未来への地図がないまま歩き出す自由の苦しさ知ったこの夏	相馬 瑠	そうま はるか	18	静岡県
			静岡県立下田高等学校		3	
69	◆	卒業式名前呼ばれてマイクオン自室に響く寂しげな「はい」	佐々木 菜結	ささき なゆ	16	静岡県
			静岡県立浜松北高等学校		1	
70		シャープペン落として気づく午後十時麦茶の水はあとかたもなく	芳澤 明希	よしざわ あき	16	静岡県
			静岡県立浜松北高等学校		1	
71		背が伸びて届かなかった吊り革をやっと掴めた高一の春	志智 朱莉	しち しゆり	16	愛知県
			名古屋市立桜台高等学校		1	
72		青い空金色（こんじき）の野のウクライナ描くためには赤はいらない	鈴木 優志	すずき ゆうじ	15	愛知県
			名古屋市立桜台高等学校		1	
73		嫌なこと「多様性」だとまるめられ少し不安な私の未来	佐藤 天音	さとう あまね	18	愛知県
			光ヶ丘女子高等学校		3	
74		内定の通知書そっと見せてみた親の笑顔が忘れられない	松田 旬	まつだ しゆん	18	三重県
			三重県立紀南高等学校		3	
75	◆	あなたへの敬語をだんだん外したい「はい」を「うん」へと変えてみる今日	小池 弘実	こいけ ひろみ	20	京都府
			大阪大学		2	

No.	秀逸作品	作品	(上段) 氏名・年齢		都道府県	
			(下段) 学校名・学年			
76	◆	お父さん口きかなくてごめんなさい思春期とやらがきてしまったの	有牛 柚子香	ありうし ゆずか	14	京都府
			京田辺市立培良中学校		2	
77		板隔てバーガー頬張り笑い合う今ある幸せ一口味わう	沢井 咲菜	さわい さな	14	京都府
			京都女子中学校		2	
78		澄んだ空山から見える宇治川も頼通がみたあの日と同じ	橋本 千央	はしもと ちひろ	13	京都府
			京都女子中学校		2	
79	◆	甲子園活躍するのは男子だけ私は河原でキャッチボール	三浦 知紗	みうら ちさ	14	京都府
			京都女子中学校		2	
80		まだ寝てる君を起こすか迷う手をまた引っこめる放課後のバス	竹内 悠莉	たけうち ゆうり	15	京都府
			京都市立紫野高等学校		1	
81		隔離され一人寂しい十日間学校行きたい初めて思う	中本 一瑚	なかもと いちこ	16	大阪府
			明浄学院高等学校		1	
82		この音に過去と未来を詰めこんで息を合わせる私とホルン	高澤 紬	たかざわ つむぎ	14	兵庫県
			芦屋市立精道中学校		2	
83	◆	登下校稲を見ながら歩いたら友と感じる春夏秋冬	上羽 優菜	うえば ゆな	14	兵庫県
			関西学院中学部		2	
84		つかめない深くて青い成層圏君のようだとき常々思う	島川 善名	しまかわ さな	14	兵庫県
			関西学院中学部		2	
85	◆	はいどうぞこころひろすぎかわいすぎなんでもくれるにさいのいとこ	神田 早葵	かんだ さき	16	兵庫県
			西宮市立西宮東高等学校		2	
86		ゆうこ、まほ会うたび変わる私の名孫の名前は間違えないで	西口 瑞季	にしぐち みずき	17	兵庫県
			兵庫県立尼崎北高等学校		2	
87	◆	他人には弱みを見せぬと笑う君水があふれたコップを見つめて	久保 侑里菜	くぼ ゆりな	13	和歌山県
			紀の川市立真志川中学校		2	
88		溶接をやってくうちに覚えてくる理屈を超えた感覚の世界	沖野 晴人	おきの はると	18	広島県
			広島県立広島工業高等学校		3	
89		初めての実習実施リモートで一人孤独に我が身を拭いた	吉村 清香	よしむら さやか	28	広島県
			広島市医師会看護専門学校		2	
90		蛍火をつつみこんだ手宝箱そっと開けば夏の思い出	宮内 滯	みやうち つらら	14	広島県
			広島市立東原中学校		2	
91		スタートの飛び込み台に立ったとき静まりかえる一瞬の水	山岡 颯真	やまおか そうま	14	山口県
			山口市立宮野中学校		2	
92		好きな人素直に言えず推しという便利な言葉で本心隠す	土井 杏実	どい あみ	17	徳島県
			徳島県立脇町高等学校		2	
93		教室の外から聞こえた君の声姿は見えずも背筋が伸びた	大江 有加	おおえ ゆうか	17	香川県
			香川県立三本松高等学校		2	
94		二人きり何を話すか分からない心臓だけが会話をしている	木村 愛子	きむら あいこ	17	佐賀県
			東明館高等学校		2	
95		暮れなずむ橙色のいい眺め少し長めの親子の会話	栗野 良輔	くわの りょうすけ	13	長崎県
			佐世保市立日野中学校		1	
96		耳澄まし今の世界の音を聞く平和を祈る原爆忌の日	庄崎 あかね	しょうさき あかね	13	長崎県
			佐世保市立日野中学校		1	
97		あの頃はルーズソックスミニスカで楽しかったと母はつぶやく	益 柚妃	ます ゆずき	16	長崎県
			長崎女子高等学校		2	
98		「始まるね」「緊張しないね」という君の手が震えてるの僕は知ってる	内村 希良	うちむら きら	18	熊本県
			熊本県立熊本商業高等学校		3	
99		気づいたら君に視線が奪われる特等席を私にください	新城 璃星	しんじょう りせ	16	沖縄県
			沖縄県立西原高等学校		2	
100		マスクして買い物行くと蔑視(べっし)されカルチャーショック不意に感じる	相澤 み子	あいざわ みこ	15	アメリカ
			慶應義塾ニューヨーク学院(高等部)(中学校3年)		9	

第36回 東洋大学「現代学生百人一首」入選作品 小学生の部

※年齢は2023年1月16日入選作品発表時のものです

No.	作品	(上段)氏名・年齢 (下段)学校名・学年		都道府県
		1	ながれ星キラキラ光るほう石だみんながえがお私のねがい	
		横浜市立藤が丘小学校	4	
2	木がゆれるまだ夏なのに七ぶそでおち葉が飛んでまるで飛行機	木佐眞 結花 きさぬき ゆうか	11	神奈川県
		横浜市立つつじが丘小学校	6	
3	夜の世界読書をしたら引きこまれまだ見ぬ世界でかけめぐるぼく	小林 羽愛叶 こばやし はあと	12	新潟県
		長岡市立越路小学校	6	
4	幼くて覚えていない祖父祖母を写真では無く近くで見たい	田中 彩羽 たなか いろは	12	新潟県
		長岡市立越路小学校	6	
5	メロディーが流れて母は懐かしむ私も知ってる年下の男の子	西澤 袖月 にしざわ ゆづき	12	新潟県
		長岡市立越路小学校	6	
6	もみじの葉ふむとカサカサ音になるもみじの道は音のじゅうたん	西内 愛俐咲 にしうち ありさ	12	奈良県
		河合町立河合第二小学校	6	
7	いつもなら聞こえる母のおかえりがいないなそうだよ入院なんだよ	福井 愛羅 ふくい あいら	12	奈良県
		河合町立河合第二小学校	6	
8	タブレットを開いてみるといつのまに国語の課題返ってきている	中野 怜緒那 なかの れおな	11	長崎県
		南島原市立布津小学校	5	
9	おじいちゃん天国からの里帰りお酒もついで待ってるからね	山下 秀真 やました しゅうま	11	長崎県
		南島原市立布津小学校	5	
10	夏の空ながるる雲の形見てどんどんうかぶ好きな食べ物	渡部 ひなた わたなべ ひなた	11	長崎県
		南島原市立布津小学校	5	

このたび、日本語学校ならびに海外協定校からも、多数の応募作品が寄せられました。上記入選作品とは別に、特に優秀な作品と認められたものを一部ご紹介いたします。

※年齢は2023年1月16日入選作品発表時のものです

作品	(上段)氏名・年齢 (下段)学校名・学年		都道府県
	すきというたったひとこと言えなくてとおりすぎてくかれのよがお	ゲン ティ バオ ヴィ 21	
	双葉外語学校 2		
日本来て母さんの夢叶えたいがまんですががんばりますよ	カウ チョー タン 19	東京都	
	アンランゲージスクール池袋校 1		
たくさんの人にやさしくしているが自分にもぜひ忘れないでね	ポーンパット ピサッシペン 20	タイ	
	シーナカリンウィロート大学 3		

応募校数・応募作品数データ

応募校数の推移（過去5年間）

	小学校	中学校	高校	大学等	合計
第36回（2022年度）	11	347	277	40	675
第35回（2021年度）	12	378	338	43	771
第34回（2020年度）	7	310	276	40	633
第33回（2019年度）	14	277	249	29	569
第32回（2018年度）	10	208	230	12	460

※「大学等」の中には、大学、短期大学、専門学校、日本語学校、特別支援学校等が含まれます

都道府県別応募作品数（第36回）

都道府県	応募作品数	都道府県	応募作品数	都道府県	応募作品数
北海道	972	山梨県	200	徳島県	431
青森県	295	長野県	515	香川県	90
岩手県	104	岐阜県	335	愛媛県	122
宮城県	522	静岡県	654	福岡県	357
秋田県	390	愛知県	1,668	佐賀県	37
山形県	934	三重県	1,180	長崎県	2,336
福島県	1,421	滋賀県	267	熊本県	326
茨城県	1,854	京都府	2,408	大分県	284
栃木県	17	大阪府	3,285	宮崎県	14
群馬県	217	兵庫県	1,816	鹿児島県	102
埼玉県	5,590	奈良県	274	沖縄県	320
千葉県	7,262	和歌山県	203	アメリカ	128
東京都	19,541	鳥取県	80	イタリア	16
神奈川県	4,251	島根県	26	タイ	41
新潟県	863	岡山県	476	中国	2
富山県	249	広島県	2,884	合計	65,966
石川県	250	山口県	357		

＝ 「学校特別賞」 受賞5校 ＝

山形県	山形県立山辺高等学校	・・・本リリースP.3に作品掲載
千葉県	芝浦工業大学柏高等学校	・・・本リリースP.3に作品掲載
神奈川県	慶應義塾普通部	・・・本リリースP.5に作品掲載
京都府	京都女子中学校	・・・本リリースP.6に作品掲載
長崎県	佐世保市立日野中学校	・・・本リリースP.6に作品掲載

※学校特別賞は、全校をあげて多数の優れた作品を応募された学校に贈呈します。
また、受賞校には本学より盾を授与します。

累計応募作品数（第1回～第36回）

回（年度）	小学校	中学校	高校	大学等	応募作品数
第1回（1987年度）		0	2,233	237	2,470
第2回（1988年度）		528	4,500	359	5,387
第3回（1989年度）		251	10,022	387	10,660
第4回（1990年度）		689	14,298	792	15,779
第5回（1991年度）		1,590	14,322	638	16,550
第6回（1992年度）		1,066	18,775	610	20,451
第7回（1993年度）		1,346	21,553	650	23,549
第8回（1994年度）		1,155	22,028	675	23,858
第9回（1995年度）		2,438	21,026	879	24,343
第10回（1996年度）		5,598	29,278	758	35,634
第11回（1997年度）		4,859	30,644	743	36,246
第12回（1998年度）		9,792	38,744	939	49,475
第13回（1999年度）		16,167	43,419	952	60,538
第14回（2000年度）		9,797	59,087	602	69,486
第15回（2001年度）	412	14,300	54,248	1,010	69,970
第16回（2002年度）	572	12,415	42,750	636	56,373
第17回（2003年度）	155	9,375	52,139	1,080	62,749
第18回（2004年度）	274	14,084	48,554	418	63,330
第19回（2005年度）	281	15,470	41,897	288	57,936
第20回（2006年度）	300	15,928	44,058	473	60,759
第21回（2007年度）	271	18,617	41,062	785	60,735
第22回（2008年度）	225	21,125	41,486	436	63,272
第23回（2009年度）	175	18,400	34,054	1,148	53,777
第24回（2010年度）	137	19,816	40,314	510	60,777
第25回（2011年度）	322	19,179	40,079	657	60,237
第26回（2012年度）	67	16,300	36,497	1,243	54,107
第27回（2013年度）	228	18,238	35,834	1,902	56,202
第28回（2014年度）	267	16,922	35,673	1,988	54,850
第29回（2015年度）	612	16,745	37,331	2,284	56,972
第30回（2016年度）	651	15,882	34,919	976	52,428
第31回（2017年度）	568	15,300	32,595	796	49,259
第32回（2018年度）	676	18,678	37,201	891	57,446
第33回（2019年度）	554	22,819	37,825	778	61,976
第34回（2020年度）	520	23,920	40,408	651	65,499
第35回（2021年度）	791	29,607	47,121	925	78,444
第36回（2022年度）	280	27,485	37,478	723	65,966
合計	8,338	455,881	1,223,452	29,819	1,717,490

※「大学等」の中には、大学、短期大学、専門学校、日本語学校、特別支援学校等が含まれます

【報道関係者様からのお問い合わせ先】

東洋大学PR事務局（電通PRC内）担当：神崎・藤田
 神崎 TEL：080-1384-9609 藤田 TEL：080-1384-9604
 MAIL：toyo@group.dentsuprc.co.jp